

ひがしの子

令和3年12月24日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 藤井 佐由美

2学期も温かいご支援・ご協力ありがとうございました！！



こあら組は、自分たちで遊び場を作って遊ぶ姿が見られるようになりました。製作したものにリードをつけて、ペットのように連れ歩いたり、保育室とホール、職員室等を行き来して、好きなぬいぐるみを赤ちゃんのように大切に連れて歩いたり等、ごっこ遊びをより本物らしく遊ぶようになりました。一人が、「しい～静かに、今、寝ているからね。」と私に諭すように言うと、周りの子も同じように「静かに・・・ねんねしてるから・・・」ソファーにずらっとぬいぐるみを並べます。

イメージや遊び方を、言葉を交わすのではなく、その場の雰囲気を感じ取り、場面によって同じようなイメージをもち遊ぶ姿に成長ぶりを感じます。作ったものや描いたもの、できるようになったこと（うんてい、鉄棒、縄跳び、ボール受け等）、我先に・・・と「見て～」とアピールする姿も自信に満ちて輝かしいです。

1学期には、恥ずかしがって大人に代弁してもらっていた子も、今では、「本、見ていいですか?」、「これ、見て。〇〇ちゃんが作ったの!」、「ここにリボンついてる。」、「〇〇ちゃんのは、もっといっぱいリボンついてる。」等と元気に話す姿も見られるようになりました。すごい!!



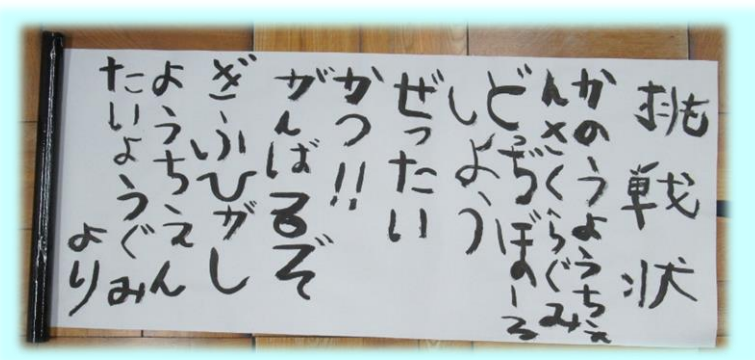
なつめ組は、興味をもったことに対して、こだわって関わり続ける姿が見られるようになりました。達目洞でもらった生き物との出会いも含めて、消防車を見て、『これが何なのか?』という問いをもち、何でも聞いてみたい、見てみたいという関心の目が広がりました。消防署の方も丁寧に説明してくださったので、より印象に残ったのか、素敵な絵を描いてくれました。

製作物も切ったり貼ったりと手が込んだものになり、作ったり描いたりした作品を見て、ストー

リーを伝えてくれる姿が多くなりました。先日も、一人の子が、迷路を作って見せてくれ、「壁にぶつかったらダメなんだけど、戻ってまた行けばいいからね。」と説明してくれました。私は、全ての壁にぶつかってやろうと、「ドカ～ン!」、「あ～ぶつかった。」、「ドッカ～ン!」、「あ～また、

ぶつかったあ〜」と子どもが考えた仕掛けに全て引っかかって見せました。すると、その反応を喜び、大笑いします。子どもの期待を上回る「どんくささ」だったのでしょう。ゴールにつくまで、そのやり取りを楽しみました。

また、ある時は、猫になった男児をリードで連れている女児、そしてもう一人の子どもが遊んでいました。猫があまりに本物らしかったので、あごの下をなでなですると、「おなかすいた。」と言います。私が、「エサをあげようかね・・・」と魚の絵を描いて見せると、急に猫から人間の〇〇君に戻り、「そうだ。」「食べたら、骨になるってことね。」と絵を描き始めました。一緒にいた女児ともう一人の子どもも、描きたくなくて、みんなでお絵描きが始まりました。魚が裏向きになったら骨になる・・・という男児の発想がとても面白く、同じように描こうとしていました。このように、年中児のごっこ遊びには、ストーリーがあり、それを、場面によって共有し、空想と現実を行き来する発達の過程が顕著に表れていました。



たいよう組の子どもは、仲間と一緒に活動することの面白さを味わい、主体的に関わりたい、「こんな風にしてみたい。」という目的意識が明確になってきました。

ドッジボールもサッカーも楽しくて、時間があれば、いつも遊んでいます。「大人対子ども」で、悔しい思いをしてきた子ども達で

すが、今度は、「子ども対子ども」で対戦する機会を持ちたいと考えました。そうです。1月には、何とか鬼見学に行き、その帰りに加納幼稚園に寄ってお弁当を食べ、岐阜東幼稚園たいよう組対、加納幼稚園いちょう組やさくら組の友達と、ドッジボール対決をしようと思います。なんと、『挑戦状』を作ってくれました。12月20日(月)に確かに、加納幼稚園の園長先生にお届けしましたので、当日まで腕を磨いておいてくださいね。一緒になって、達成感が持てるように見守っていきたいと思います。その時には、またご協力よろしくお願いいたします。

『光の遊び』や『幼小交流』、『加納幼稚園の年長児との顔合わせ』もオンラインを通して「つながる」ことを大切にしました。その場になくても、相手とつながることができることを実体験し、子ども達は、人とのつながりを広げることができました。きっと、科学館の先生や小学校の上級生、地域の方など、多様な人との関わりの中で、様々なことを感じ取ったのではないかと思います。





お知らせとお願い

★クリスマスプレゼントとして、PTAサンタ（会計）よりいただきましたのでご紹介します。

こあら組：わにわにメモリーカード

なつめ組：スリーヒントゲーム

たいよう組：いろはかるた

★公益財団法人 日本教育公務員弘済会岐阜支部より、教育図書を贈呈していただきました。

こぶたのブーちゃん

たいこ

めんたべよう！

こんちゅう

やさいのおなか

やさいのせなか

かみひこうき

しろいかみのサーカス

ちいさなこえがみらいをかえる！

ぼくのすきなおじさん

おばけえん

もりのだるまさんかぞく

目録をいただきましたので、図書室に飾ってあります。

★ぎふ中央ライオンズクラブより、クリスマスプレゼントをいただきました。

カプラ280Jー日本仕様 1セット

カプラカラー40 4セット

★十六銀行より、絵本を寄贈されました。

ちいさなちいさな みんなとあそぶリトアニアのしのえほん

★学研プラス 学びソリューション事業室より、絵本を寄贈されました。

ナナちゃんとせんいんさん

★12月22日（水）のたいよう組の子どもたちによる

「世界のこどもたちを助けたい！冬野菜チャリティ」を開催しました。

募金金額 合計：¥12,518

ある日、ユニセフから手紙が届きました。

「気候変動に命と未来を脅かされる世界の子どもたちを守るために、みなさまのお力がぜひとも必要です！温かいご協力をお願いいたします。」

これに、たいよう組の子どもたちが立ち上がってくれました。

「世界のこどもたちをたすけたい・・・」と。

親子ふれあいフェスティバルを通して、世界の国に興味をもち、国旗や地図をして、世界の人々のことを少しだけ知りました。そのつながりの中に、この気持ちがあります。

たくさんのご協力、本当にありがとうございました。

